



大阪ガス

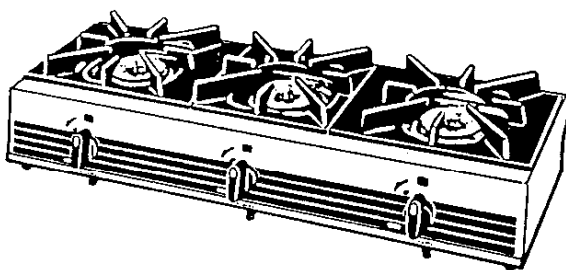
ガステーブルコンロ

取扱説明書

10-326型
10-327型

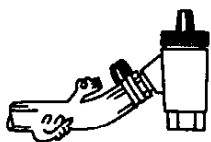
保証書付

形式の呼び	RSB-206
	RSB-306

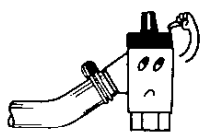


10-327型

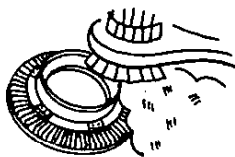
ガス器具をお使いになる時のご注意



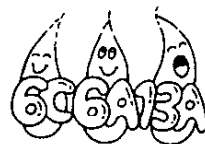
ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとコックも
閉める習慣を



毎日使う
ガスコンロの
バーナーなど器具も
ときどきお手入れを

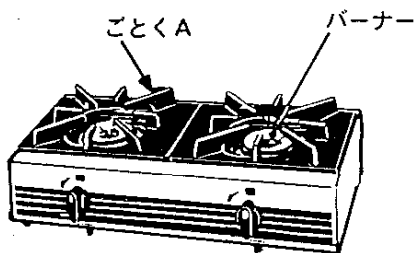


ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

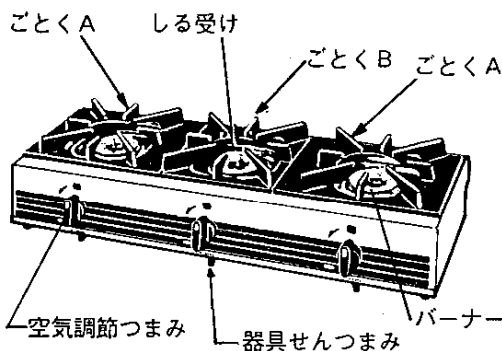
このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この器具を上手にお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みになって、安全に正しくお使いいただき、ご愛用ください。

各部の名称



10-326型

※ゴム管口は後部にあります。



10-327型

安全にお使いいただくために

■ガスの種類を確かめてください。

- ガス器具を安全にお使いいただくためには、器具とガスの種類が一致していなければなりません。
ガス器具には、その器具にあうガスの種類を銘板に表示してありますので、この器具とお宅のガスが一致しているかどうかをお確かめください。
- 種類が一致しない場合に、そのままご使用になると、不完全燃焼を起こしたり、火災の原因になったりして危険です。種類が一致しない場合は大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

銘板

メーカー型式

ガスの種類およびグループ
ガス消費量

製造年月および製造番号

製造業者名

必ず確かめ
ましょう。

- 都市ガス用 6C
- 都市ガス用 6A
- 都市ガス用 13A
- LPガス用

■使用場所についてのご注意

- 換気(給気・排気)が十分できる所に設置してください。
- 強い風の吹きこむ所では使用しないでください。
- 器具の近くに紙・プラスチック・油類など燃えやすいものは置かないでください。

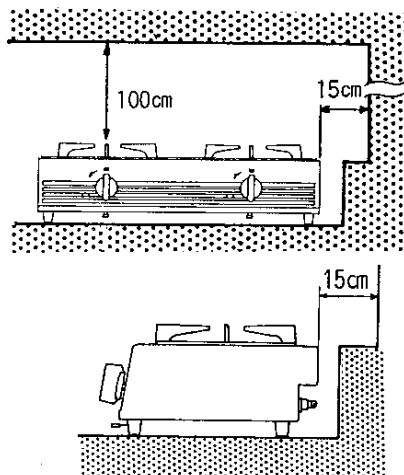
器具の設置について

■ゴム管の接続

- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないようできるだけ短かく〔2m以下で適当にゆとりをもたせる〕また、器具の下を通したり、器具に触れないようにしてお使いください。
- ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。
- 10-326型はゴム管9.5mmφ、10-327型はゴム管13mmφ(但しLPG用は9.5mmφ)をお使いください。

■設置場所

- 器具は丈夫で水平な台に置いて使用してください。
- 水のかかるおそれのあるところでは使用しないでください。
- 側面および後面は、壁から15cm以上はなし、周囲の可燃物とは十分に距離をとるようにしてください。
また器具と上方の天井・吊りどなど可燃性の部分との間は100cm以上離してください。



使用方法

■準備

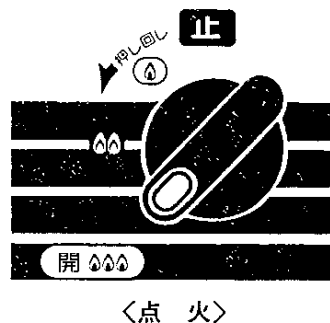
器具せんつまみが「止」の状態にあることを確認してからガス元せんを開けてください。

■点火

器具せんつまみを左へゆっくりいっぱい回してください。「カチッ」と音がしてバーナーに点火します。バーナーへ火移りしたことを確かめてから手を離してください。

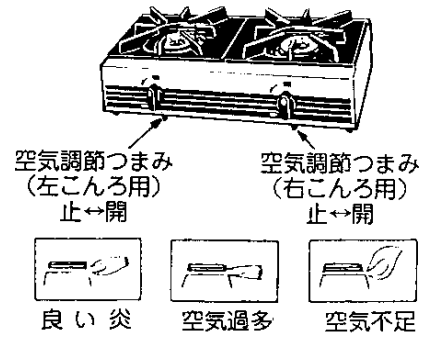
〈ご注意〉

はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しないことがあります。この場合には、空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。万一点火しないときは、器具せんつまみを一旦もとに戻して、あらためて点火の操作をしてください。あまり早く回すと点火しないことがあります。



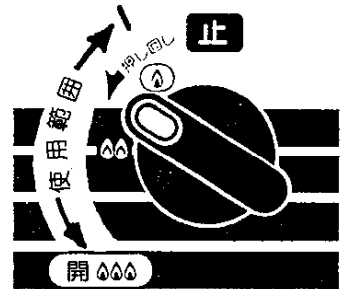
■空気調節

- ガスを正しく有効にお使いいただくには、空気調節が大切です。炎の状態をよく見て空気調節つまみを適正な位置に調節してください。
- 空気調節つまみを右へ動かすと「開」、左へ動かすと「止」の状態になりますから、透き通った青い炎で燃焼するように調節してください。



■火力調節

- ・「小火 (㊦)」と「止」の間では使わないでください。(「開 (㊦㊦㊦)」「中火 (㊦㊦)」「小火 (㊦)」の間では途中の位置でも使用できます。)
- ・「小火 (㊦)」から「中火 (㊦㊦)」にするときは、一旦「開 (㊦㊦㊦)」の位置まで回してから「中火 (㊦㊦)」に戻してください。「小火 (㊦)」から「中火 (㊦㊦)」にするときは「カチッ」と音がしません。
- ・「開 (㊦㊦㊦)」から「小火 (㊦)」にするときは、器具せんつまみをゆっくり回してください。急に回すと消火することがあります。着火していることを確かめてください。

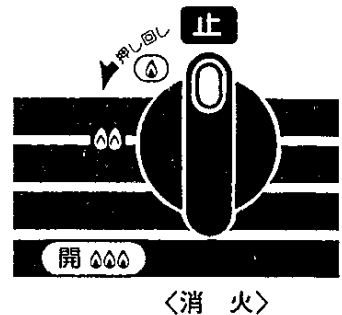


■消 火

器具せんつまみを右へいっぱい(「止」の位置まで確実に)回して消火してください。完全に「止」の位置まで回さないとガスが漏れたりして危険です。

■こんろの使い方

点火の際は、こんろになべやヤカンをかけて点火し、全部の炎口に着火したことを必ず確かめてください。



日常の点検・手入れ

■点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。
- 点検で異常を見付けられたときは、大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

■点 検

- ゴム管はガス用ゴム管(JISマークや年号の入ったもの)を使用し、器具およびガス元せんともゴム管口の赤線まで十分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなってひび割れたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。
- バーナーキャップ、ごとくなどが正しくセットされているか点検してください。
- バーナーが煮汁などでつまっていないか点検してください。

■お手入れ

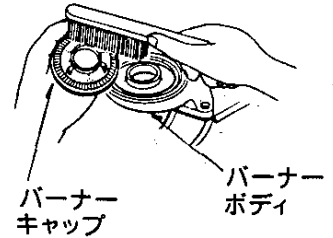
○器体の表面・ごとく・しる受け

乾いた布でよくふいてください。

汚れのとれにくいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分水気をとっておいてください。そのままにしておきますと煮汁などで器体・ごとく・しる受けを早くいためます。

○バーナー

- ・ガスを有効にお使いいただくためには、バーナー（バーナーキャップ、バーナーボディ）はときどきお手入れしてください。目づまりしたバーナーは、不完全燃焼するおそれがあります。
- ・バーナーキャップは簡単にとりはずせます。バーナーは、ブラシやキリ状のもので掃除してください。ただしバーナーの水洗いはさけてください。
- ・目づまりなどで悪くなったバーナーキャップは、取り替えるなどして、いつもきれいな状態でご使用ください。



〈ご注意〉

掃除後は正しくセットしてください。

故障・異常の見分け方と処置について

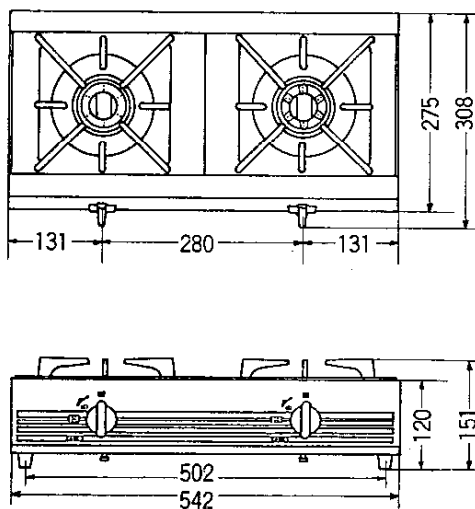
原因	現象							処置方法
	点火しにくい	点火用パイロットが消火しない	着火（火移り）に弱い	爆発的に着火する	黄炎で燃える	炎が安定しない	燃える異常な音をたてて	
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分	★		★	★		★		器具せんつまみを一たん閉じてからガス元せんを全開にする
ゴム管内に空気が残っている	★							ガスが正常に出るまで十分注意しながら点火操作を繰り返す
ガス圧が適切でない	低い	★	★	★		★	★	他の器具も同様の場合は点検依頼する
	高い	★	★		★	★	★	
ゴム管の折れ曲がり・つぶれ	★		★	★		★	★	ゴム管の折れ・曲がりを直す
安全コックへの差し込み不足	★		★	★		★	★	ゴム管を十分に差し込む
ゴム管の摩耗劣化(安全コック)	★		★	★		★	★	ゴム管を交換・先を切りつめる
点火装置の電極部の汚れ	★							汚れをふきとる。それでも直らないときは点検を依頼する
バーナー炎口づまり・空気口づまり			★	★	★	★	★	つまみを取り除く。それでも直らないときは点検を依頼する
バーナーキャップの取り付け不良			★	★	★	★	★	正しく取り付ける
点火操作が適切でない	★							「使用方法(点火)」参照
空気調節が適切でない			★		★	★	★	「使用方法(空気調節)」参照
点火つまみが接触		★						点検を依頼する
点火装置のリード線の接続	★							点検を依頼する
点火装置の故障	★							点検・修理・部品交換を依頼する
器具の銘板と使用ガスが不一致	★		★	★	★	★	★	点検・修理を依頼する

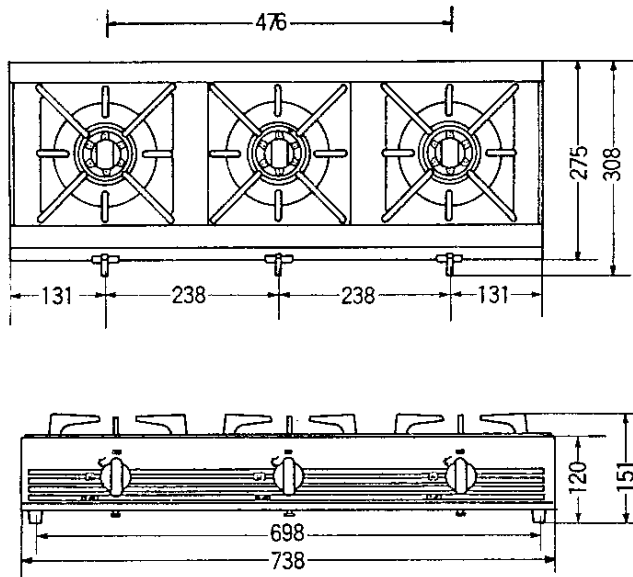
仕 様

品 名	ニ コ コ ソ ロ		ミ コ コ ソ ロ		
コ ー ド	10-326型		10-327型		
型 式	RSB-206		RSB-306		
外形寸法	高 さ (mm)	151		151	
	幅 (mm)	542		738	
	奥 行 (mm)	308		308	
本 体 重 量 (kg)	7.8		10.9		
ガ ス 接 続 (mmφ)	9.5mmゴム管		13mmゴム管		
点 火 方 式	圧 電 式 点 火				
使用ガスグループ	個別点火時	全点火時	個別点火時	全点火時	
最大消費 ガス量	6C(kcal/h)	3,200	6,200	3,200	9,400
	13A(kcal/h)	3,200	6,200	3,200	9,400
付 属 品	取 扱 説 明 書				

■外形寸法図

10-326型





アフターサービスについて

■ サービス(点検・修理)を依頼される前に

「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえそれでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

1. 形式の呼び(銘板表示のもの)
2. 現象(できるだけ詳しく)

■ 転居される場合

ガスには、都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガス支社・サービスショップにご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

■ 保証について


この器具には保証書がついています。

当社は保証書に記載してあるように、器具に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に 응ずることを約束致します。(詳細は保証書をご覧ください。)保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。

本社・支社所在地および電話番号

本 ガ ス サ ー ビ ス セ ン タ ー	社 ル 大 阪 市 東 区 平 野 町 5 - 1	電 話 大 阪	06(202)2221	☎541
特 需 営 業 セ ン タ ー	大 阪 市 西 区 千 代 崎 3 - 2 - 95	電 話 大 阪	06(582)0471	☎550
堺 支 社	堺 市 住 吉 橋 町 2 - 2 - 19	電 話 堺	0722(38)1131	☎590
北 摂 支 社	高 槻 市 藤 の 里 39 - 6	電 話 高 槻	0726(71)0361	☎569
阪 神 支 社	西 宮 市 和 上 町 4 - 11	電 話 西 宮	0798(26)3101	☎662
東 部 支 社	東 大 阪 市 稲 葉 2 - 3 - 17	電 話 河 内	0729(62)1131	☎578
京 阪 支 社	枚 方 市 西 田 宮 町 16 - 17	電 話 枚 方	0720(41)1251	☎573
神 戸 支 社	神 戸 市 中 央 区 相 生 町 5 - 13 - 10	電 話 神 戸	078(576)5231	☎650
京 都 支 社	京 都 市 中 京 区 烏 丸 御 池 梅 屋 町 358	電 話 京 都	075(231)8151	☎604
和 歌 山 支 社	奈 良 市 学 園 北 2 - 4 - 1	電 話 奈 良	0742(44)1111	☎631
姫 路 支 社	和 歌 山 市 本 町 1 - 1	電 話 和 歌 山	0734(31)2481	☎640
東 播 支 社	姫 路 市 神 屋 町 4 - 8	電 話 姫 路	0792(85)2221	☎670
湖 南 支 社	加 古 川 市 加 古 川 町 粟 津 29 - 1	電 話 加 古 川	0794(21)1801	☎675
彦 根 支 社	豊 岡 市 三 坂 町 6 - 57	電 話 豊 岡	07962(3)2221	☎668
(長 浜 営 業 所	草 津 市 追 分 町 字 荒 堀 680 - 1	電 話 草 津	0775(62)5311	☎525
	彦 根 市 大 東 町 9 - 41	電 話 彦 根	0749(22)3131	☎522
	長 浜 市 南 呉 服 町 3 - 4	電 話 長 浜	07496(2)7171	☎526)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具せん(元せん)だけでなくガスの元せんもかならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製  マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めでしめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先の元せんにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社